

<浜松医科大学医学部附属病院>救急科

<プログラム類型>

②基本コース

<プログラム概要>

初期臨床研修を終えた医師あるいはすでに実際に救急診療の場で活動されている方のために、日本救急医学会救急科専門医を取得するプログラムとして策定した。救急医は多様性を持っており、救命救急型、ER型、プライマリケア型、など多くのタイプがある。さらに外傷、熱傷、中毒などの特定の分野についてさらに研鑽を積みたい、あるいは外科、循環器科、整形外科など特定の科をサブスペシャリティとして持ちたいなど、様々な希望を持つ医師もいるだろう。この救急専門研修は3年間で一つの区切りとなるが、この専門研修中、あるいは研修後の計画についても、本人の希望をもとに相談しながら、臨機応変に対応することが可能である。

<取得できる資格>

救急科専門医

<現時点の受入見込数>

6人

<具体的なコース>

← うち、4年間を医師不足地域で勤務 →

初期研修 2年	後期(専門)研修 3年	後期(専門)研修後(県内病院勤務) 4年
県内病院	大学病院または関連病院	勤務する医療機関については、医師不足地域での勤務が4年間となるよう、県とプログラム設置機関とで協議し、県で指定します

<勤務する医療機関> ※医師少数区域は今年度策定する医師確保計画で決定

二次医療圏	後期(専門)研修	後期(専門)研修後
賀茂	伊東市民病院	上記のとおり
熱海伊東		
駿東田方		
富士		
静岡	静岡赤十字病院、静岡市立静岡病院、静岡市立清水病院	
志太榛原	島田市立総合病院、藤枝市立総合病院	
中東遠	磐田市立総合病院	
西部	浜松医療センター、聖隷浜松病院、聖隷三	